

25th Anniversary

一般社団法人 広島県トライアスロン協会
創立25周年記念誌



一般社団法人 広島県トライアスロン協会創立25周年記念式典

■ 日時 2019年11月9日(土) 12時～ ■ 場所 メルパルク広島 5F

一般社団法人 広島県トライアスロン協会創立25周年記念実行委員会

祝 辞

公益社団法人
日本トライアスロン連合
会長 岩城 光英



本年、創立25周年を迎える一般社団法人広島県トライアスロン協会の偉大な実績に対し、深く感謝の意を表します。

競技団体の設立から、組織の整備、大会開催そして選手の強化育成に携われた貴協会は、2016年にアジア選手権を廿日市で開催し、来年2020年にも再度、この招致に成功されました。スポーツを通じた国際友好がさらなる平和への足掛かりとなることを期待します。広島県が21世紀のスポーツとも言われているトライアスロンを通じて、大きく飛躍することは私たちトライアスロンファミリーの喜びでもあります。

広島県で過去に開催されてきた大会は思い出深いものばかりです。旧海軍兵学校・史跡が美しい江田島からスイムをスタートし、呉港を見下ろしながらバイクが走る、そして呉市内にランフィニッシュするワールド大会は独自の開催でしたが、道路管理などボイスカウトをはじめとした多数のボランティアによる大会は特筆されるものでした。その後、JTU設立前の日本選手権の開催につながり、大成功を収めるに至りました。ここで活躍された選手たちは延べ数万人に及び、その体験が日々の快適な生活につながっているものと思います。また、広島県協会を生み出した先達たちのご苦勞、そして先見の明には頭が下がる思いです。瀬戸内海に面する温暖な気候、そして変化にあふれる自然の中を、海、陸そして風と触れ合いながら競技するトライアスロンには最適な環境と言えます。そして、恵まれた文化環境も特筆されるものです。アジアそして世界の人々が広島に集まり、そして広島県民のスポーツへの取り組みが世界に広がっていくようです。トライアスロン競技は、5回のオリンピックを経験しました。そして来年はミックスリレーを加えて東京で開催されます。だれもが想像しようがなかったパラトライアスロンがパラリンピックの正式競技種目になりました。アジア大会も、広島県での開催から、2026年には愛知県名古屋市での開催が決まりました。国民体育大会は、震災復興のシンボルともなった岩手国体で正式競技となり、今年は茨城県で3回目の大会が開催されます。過去から現在そして未来へとつながるトライアスロンと関連マルチスポーツを25年に渡り支え、そして見守ってくれた広島県協会の次の25年に思いを馳せながら、多くの選手、役員そして大会主催者の皆さまに心から御礼を申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

広島県知事

湯 崎 英 彦



広島県トライアスロン協会が、創立25周年を迎えられますことを、心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、本県スポーツの振興に多大な御尽力を賜っておりますことに、深く敬意と感謝を表する次第でございます。

さて、トライアスロンは、スイム・バイク・ランの3種目を連続して行う過酷な競技でありながら、それを乗り越えた先に味わうことのできる感動のゴールが格別であり、それがトライアスロンの魅力となっています。そうした魅力に引き寄せられ、多世代にわたって愛好者が広がっている人気の高いスポーツになっています。こうした中、シドニーオピンピックで正式競技となってから20年を経て迎える来年の2020東京オリンピック・パラリンピックでは、日本人初のメダル獲得に期待が膨らんでいるところです。

貴協会におかれましても、体験会や講習会等の地道な活動をはじめ、競技者の支援、大会開催等の様々な活動により、トライアスロン競技の普及・振興に務められるとともに、本県の地域の活性化にも貢献いただいているところです。中でも、去年の福井国体では、池田康智選手が、広島県のトライアスロン競技では初となる入賞、第3位の成績をあげられ、明るいニュースを届けていただきました。広島県選手の活躍は、私たちに元気と勇気を与えてくれ、「広島の誇り」をもたらすものです。

また、貴協会が主催する「はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン」は、今年で13年目となりますが、毎年、世界遺産と広島を巡るコースに魅了され、国内・海外から老若男女の選手、観戦者、ボランティア等の多くの方々が大会に参加されています。

「する」「みる」「ささえる」の立場で、スポーツに多様な形で関わることのできるこの大会は、トライアスロンの醍醐味はもちろん、トライアスロンを通じて、多くの方々が、スポーツから生まれる豊かさや幸せを実感されていることと思います。

今後とも、より一層、選手の発掘・育成・強化に御尽力いただくとともに、スポーツを通じた地域・経済の活性化に御貢献いただくことを御期待申し上げる次第です。

終わりに、今後の広島県トライアスロン協会のますますの御発展と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



広島市長 松井 一 寛

一般社団法人広島県トライアスロン協会がこの度、創立25周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、平成6年に発足以来、県内各地で様々な大会を開催されるとともに、「はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会」を広島を代表するスポーツイベントとして定着させるなど、トライアスロン競技の普及・振興に大きな貢献をされています。貴協会の運営をけん引してこられた歴代会長を始め、関係者の皆様の熱意と不断の御努力に深く敬意を表します。

トライアスロン競技は、間近に控える東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の正式種目でもあり、国際的な競技スポーツとして、関心が高まっています。

スポーツは、健康の保持増進はもとより、「まち」のにぎわいの創出や地域コミュニティの活性化など、明るく豊かな社会の形成に寄与するものです。本市では、そうしたスポーツの役割を踏まえ、全ての市民がライフスタイルに応じて様々なスポーツに関わり、生きがいを感じることができるよう、市民のスポーツ活動の促進に取り組んでいます。

そうした中、貴協会が「水の都広島」の象徴である太田川や自然豊かな瀬戸内海でのオープンウォータースイミング大会の開催や小学生を対象としたキッズアクアスロン体験会の開催など、トライアスロンへの関心を高める活動に積極的に取り組んでおられますことは、本市のスポーツ振興にとっても大変有意義なことと考えています。

今後も、貴協会の活動を通して、トライアスロンが、広島ならではの素晴らしい自然環境の下で、幅広い世代に、より一層親しまれるスポーツとなるよう願っています。

終わりに、一般社団法人広島県トライアスロン協会のますますの御発展と関係者の皆様の御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



廿日市市長 眞野 勝弘

一般社団法人広島県トライアスロン協会が設立25周年を迎えられるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、平成6(1994)年の設立以来、はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会をはじめ、キッズを対象としたデュアスロン大会など、多くの企画を実行され、広島県でのトライアスロンの普及や振興に大きく貢献されていることに、深い敬意を表します。

トライアスロンは、平成12(2000)年に開催されたシドニーオリンピックから正式種目として実施され、来年の東京オリンピックでは、ミックスチームリレーが新たな種目として加わります。また、前回のリオネジャネイロパラリンピックから、パラリンピックにおいても正式種目となり、多くの国と地域に普及しているところです。

本市においては、平成28(2016)年に、リオ・デ・ジャネイロオリンピック・パラリンピックのアジア大陸別選考会となった、「ASTCアジアトライアスロン選手権」を開催しました。その際には、競技運営をはじめ、審判、ボランティアなど様々な分野で、貴協会にご協力をいただきました。来年の4月には、「ASTCアジアトライアスロン選手権2020廿日市」を開催しますが、前回大会の経験や課題を踏まえ、準備段階から、貴協会に競技主管として参画いただいております、前回以上の素晴らしい大会になるものと期待しております。

また、こうした様々な大会を通じて、トライアスロンに触れた市民の皆さんには、「するスポーツ」「みるスポーツ」というだけでなく、「ささえるスポーツ」として、ボランティアや、応援など、それぞれの係わり方でトライアスロンを楽しむことができるということが、広く浸透していることを実感しています。

結びに、平素よりトライアスロンを通じて、青少年の健全育成やスポーツの推進にご尽力を賜っております貴協会の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、貴協会の更なるご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



呉市長 新 原 芳 明

広島県トライアスロン協会が設立25周年を迎えられましたことを、お慶び申し上げます。

広島県トライアスロン協会におかれましては、1994年の設立以来、トライアスロン、デュアスロン、オープンウォータースイミング及びそれらの関連競技の普及・発展にご尽力をいただいております。木村会長をはじめとする歴代会長、並びに役員・協会員の皆様方のご努力に敬意を表します。

広島県トライアスロン協会設立前の1986年、県内で初めてのトライアスロン大会「第1回ワールドトライアスロンインひろしま」が、ボランティアを始め多数の関係団体の協力によって開催されました。舞台は、呉市と江田島市でした。また、シドニーオリンピックでトライアスロン競技が正式種目になった2000年からは、「アクアスロンくらはし大会」が全国から多くの選手を迎え呉市倉橋町で開催されています。今年の7月には第20回大会が実施されました。さらに10月には「第2回広島オープンウォータースイミング2019」が、昨年に続き呉市倉橋町で開催されました。オープンウォータースイミングは東京2020オリンピック種目であり、自然水域を泳ぎ競います。

その他にも、呉市を舞台に、数多くの大会やセミナーを開催していただいております。これらを通じて、呉市の歴史や文化、瀬戸内の海や島々の美しさなどをPRしていただいておりますことに、感謝申し上げます。

これからも、広島県トライアスロン協会が、益々ご発展されますようお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

祝 辞

公益財団法人 広島県体育協会
会長 神出 亨



このたび、広島県トライアスロン協会におかれましては、創立25周年を迎えられ、これまでの歩みを記録した「記念誌」が発刊される運びとなりましたことは、誠におめでたく、心よりお喜びを申し上げます。

貴協会は、平成6年に創立以来、ワールドトライアスロン in ひろしま、はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会をはじめ、数々の競技大会を開催・主管してこられました。さらに近年では、より親しみやすい大会として、オープンウォータースイミングを広島市内の河川で開催するなど、本県トライアスロン競技の普及・振興にご尽力されるとともに、本県スポーツの振興に多大なご貢献をされております。

トライアスロン競技は、オリンピック競技として世界的な人気を集められております。国内では、平成21年の新潟国体から公開競技として実施され、平成28年の第71回・岩手国体から正式競技(隔年実施)として採用され、平成30年の第73回・福井国体からは毎年実施競技となっております。比較的歴史の浅いトライアスロン競技ではありますが、短期間にこれほど多くの支持を得て、広く内外で人気を博すに至っておりますのも、日本協会の関係者はもとより、県協会の皆様の並々ならぬご尽力の賜物であろうと存じます。

水泳(スイム)・自転車競技(バイク)・ランニング(ラン)の3種目を連続して行うトライアスロン競技は、強靱な体力と精神力を必要とすることから「鉄人レース」とも呼ばれておりますが、健康や自然を志向する現代人にとって、魅力あるスポーツとして、今後ますます広範に注目を集めていくものと思います。

この25周年を新たな出発点として、一般社団法人広島県トライアスロン協会の益々のご発展と選手・役員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

素晴らしい出会いに感謝！

廿日市商工会議所

会 頭 細 川 匡



もう、随分昔のような気がします。15年前に廿日市商工会議所副会頭を拝命した私が、一番に取り組んだのがハワイ島コナ・コハラ商議所との姉妹提携。ハワイ島コナと言えば、アイアンマン・レース！そこで、「廿日市市でトライアスロン大会を開催しよう！」身の程知らずの提案は、誰からも相手にされませんでした。

折好く廿日市市は佐伯、吉和、さらに大野、宮島を加えての大合併。「旧5市町村を一本の線で結ぼう！」後付けの開催意義が功を奏して、徐々に関心も高まりました。

まず、山下三郎前廿日市市長に協力を要請。次いで県トライアスロン協会の鶴衛会長の賛同を得て、総会で挨拶に代えての提唱に拍手喝采！熱い拍手に後押しされて、道路の使用許可を求めて廿日市署や県警を訪問。厳しくも熱心なご指導の中に一筋の光明を見出し、次なるハードルは資金集め。旧知のアーバンコーポレイションの房園社長に直談判の末、協賛の承諾いただいた瞬間には思わずガッツポーズ。ボランティアに関しては、市内の諸団体から予想をはるかに超える熱烈支援を拝受。意外に苦戦したのが、参加選手の募集。数百人の応募はあるだろう…との目論みは外れ、当初の応募は目標の半分。再募集&再々募集を繰り返し、やっと目標数に到達しました。

大会当日は天候にも恵まれ、沿道には5万人の応援団。初めてづくしの運営も選手には概ね好評で、ホッ。初代チャンピオンになった福元哲郎さんの躍動や、地元の片足のアスリート安井正文さんの激闘から感動と勇気をもらい、「来年も続けましょう！」大会終了直後から全方位の大合唱でした。以降、第3回のメインスポンサーの経営破綻…第5回の東日本大震災の苦難を乗り越え…第7回にはJ T U公認大会に昇格&男女オリンピック選手出場…第8回にはエリート部門の新設など着実に進化を遂げ…お陰様で今年13回目を数えました。

こうした実績を礎に、2017年リオのオリンピック予選を兼ねた「アジア・トライアスロン選手権」を開催。2020年には東京オリンピック予選の「アジア・トライアスロン選手権」の開催予定など望外の発展を遂げました。そして何よりも、多くの出会いとドラマの誕生に、感謝感激です。Thank you! & Good luck!

祝 辞

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
顧問 **林 正 夫**
(前広島県議会議員)



一般社団法人広島県トライアスロン協会におかれましては、平成6年の設立以来、今般、創立25周年を迎えられますことを、心から御慶び申し上げます。

また、貴協会関係者の皆様方におかれましては、長年、本県のトライアスロン競技の普及・振興を通じて、本県のスポーツ振興に多大なる御貢献をいただいているところであり、これまでの御尽力に対しまして、改めて、深く敬意と感謝の意を表します。

ご承知のとおり、トライアスロン競技は、水泳(スイム)、自転車競技(バイク)、ランニング(ラン)の三種目を連続して行う競技で、競う距離によって、スプリント・ショート・ミドル・ロングと分類されますが、いずれも体力的、精神的にも非常に過酷な競技であり、「鉄人レース」とも呼ばれております。このようにトライアスロンは苛酷なスポーツですが、その競技人口は、年々増加傾向にあり、平成12年にはオリンピックの正式種目に、そして平成28年からは我が国でも、国体の正式種目になったところであります。

全国各地で、毎年、市民参加の大会も数多く開催され、国内でも大きな盛り上がりを見せており、愛好家も増加しております。

なぜ、このように多くの方々がトライアスロン競技にチャレンジするのでしょうか。それはきっと、トライアスロン競技に苛酷さを超えた大きな魅力があるからなのでしょう。

自分の限界に挑戦し、それを乗り越えた時、その先にある感動を、競技する者と応援する人々が一体となって体感する。これがトライアスロン競技の最大の魅力ではないかと思います。

来年は、いよいよ東京オリンピックが開催されます。

広島県トライアスロン協会 成熟期に向けて

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
会 長 木 村 真一郎



日本で初めてトライアスロンが皆生で開催とのことで、知人が参加に向けてトレーニングをしているのを横目に、もしかしたら生きて帰れないかもしれないと無事を祈るばかりでした。その後「ワールドトライアスロンひろしま」が開催されると聞いて、何故か出てみたいと思い立ったのが、私のトライアスロン人生の始まりでした。残念ながらそれから3年続けて落選したのですが、それでも各地の大会に出場しトライアスロンの虜になってしまいました。

当時は飛ぶ鳥を落とす勢いで、トライアスロン人口も増えていき、国内統一団体として現在の前身である「日本トライアスロン協会」が設立されて、国体やオリンピックの正式種目への道も開けてきました。まさにトライアスロンの黎明期だったのでしょう。

トライアスロンが競技として確立され、全国各地に競技団体が発足する中で、広島県トライアスロン協会が1994年に誕生しました。これにより県内各地で主体的に開催されていた大会も、協会が関わることにより安全で公正な運営が確立されて行きました。トライアスロン人気の浮き沈みはありましたが、県内各地で行われている大会を永続させるためには、開催地を中心とした地域協会の設立と、その責任母体となる県協会の法人化が必要と考えました。積年の思いが昨年やっと現実のものとなり、「一般社団法人広島県トライアスロン協会」が誕生したのです。

これからがスタートであり、誰からも親しめる大会として、地域や経済界にも貢献できる競技として大切な時期を迎えることになります。ボランティアを中心とした協会運営ではありますが、社会的な責任とトライアスリートからの期待に応える必要が増したわけです。そのためにも「トライアスリートによる、トライアスリートのための、トライアスリートの協会」として、多くの皆様のご協力とご支援による運営が必要です。

どうぞ、これからの成熟期を迎える協会や大会のために引きつづきご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

たかがトライアスロン、 されどトライアスロン —生涯スポーツとしてのトライアスロン—

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
初代会長 川本 正行



一般社団法人広島県トライアスロン協会創立25周年、誠におめでとうございます。県トラ協の立ち上げに関わり、25年間付き合ってきた者の一人として、心よりお祝い申し上げます。

平成6(1994)年3月5日に広島市東区弥生会館で産声を上げた県トラ協は25歳の凛々しい青年となりました。当時、厚顔の中年のオッサンだった私はいつのまにか関節がコキコキ鳴り始め、古希を迎えたジジイとなりました。今年は古希記念に

- 5月19日 2020アジアトライアスロン選手権試泳会
- 6月 9日 第4回大崎上島HAPPYトライアスロン
- 6月16日 第13回はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン
- 7月14日 第20回アクアスロンくらはし
- 7月28日 トライアスロンさぎしま練習会
- 8月18日 第30回記念トライアスロンさぎしま
- 8月25日 第22回彩が丘トライアスロン
- 9月 1日 第1回広島太田川オープンウォータースイミング
- 9月 8日 第7回ワールドトライアスロンイン段原

に参加・出場し、完泳・完走しました。

私は県トラ協5周年誌にトライアスロンを近代スポーツとして3つの観点から捉える必要があると述べました。

1つ目は観るスポーツとしてのトライアスロン。2つ目は競技スポーツとしてのトライアスロン。3つ目は生涯スポーツとしてのトライアスロン。

現在、高齢者となった私は生涯スポーツとしてのトライアスロン実践者として、生涯こよなくトライアスロンを愛し、「たかがトライアスロン、されどトライアスロン」の気概をもって、これからも広島県トライアスロン協会の一会員として、皆さんと共に県トラ協会を支え発展するよう微力ですが尽力したいと思っています。会員の皆さん、これからは協会主催の大会にも、草レースにもどんどん参加しましょう。

25年間を振り返って

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
副会長 川堀 耕史



赴任先の根室で何気なく手にした月刊誌(TJ)、鍛え抜かれたアスリートの姿が目飛び込んできた瞬間、自分の中で何かが変わった。1993年(協会・JTU設立元年)広島に戻ると早速トレーニング開始。1997年宮古島で念願のレースデビューを果たしたが、10年続けて宮古に戻ってくるとは思いも寄らなかった。

さて、協会活動の方は、現役アスリートでもある各クラブの代表者が意見をぶつけ合う熱い姿に共感して理事就任を決意。あれから25年の月日が流れた。初代会長の1994～2002年は体協加盟(1997年に達成)を目標にした組織固めの時期、そのため理事の入れ替わりも激しかった。2代会長の2003～2011年は都市型の新規大会立上げを目標に掲げ、協会の社会的認知度向上を目指した時期、結果として2007年から「はつかいち縦断宮島国際パワートライアスロン大会」がスタートした。3～4代会長の2012年～2019年は国際大会であるASTCアジアトライアスロン選手権廿日市(2016年・2020年)の競技運営や社会的信用度を高めるために法人格を取得するなど、競技団体として成熟期を迎え、今日に至っている。

また、個人的にはJTUメディカル委員としての活動を通し、地方在住ながら日本代表チームドクターに招聘され、1999年モントリオールを皮切りに2000年パース世界選手権、ゴールドコースト直前合宿を経てシドニー五輪帯同という重責を担わせて頂いた。その後も国内外の大会で日本代表選手をサポートする機会を頂き、多くの貴重な経験を積むことが出来た。

今日協会があるのは歴代の会長は勿論、これまで活動に御参加頂いた理事並びに力強い指導力で組織を牽引されてきた歴代理事長の皆様のおかげです。改めて感謝を申し上げますと共に、今後も末永くご指導頂きますようよろしくお願いいたします。

トライアスロンが生活の一部だ



広島鉄人会 会長
一般社団法人
広島県トライアスロン協会
副会長
広中 利次



今や競技者として出場してる大会も少なく皆生を1年の標準、目標に数年過ぎし連続30回を目標にトライアスロンを頑張ってきた。27回目で初めてウェイティングを経験した。長く競技を続けると体がまた今年も走ろうと反応して夜も眠れなくなる。出場を諦めかけたが身体が諦めてなかった。このままいけると連続完走30回目。初めてリタイヤをした。トライアスロン、鉄人競技と言われる大きさを感じた。このゴールだけ！！頭によぎる…リタイヤするのも勇気がいったが、ここまできたらもういいだろう。進めば進む程ゴールまでの辛さが身体が覚えていた。諦めがついた。毎年ゴールするのが当たり前に思えのに皆生のゴールへの道のりがすごく遠くに感じた。皆生の重みがこんなに大きなものだったのかトライアスロン人生初心に返ってみる1年に1度皆生だけで会う仲間、一緒に練習をしてきた仲間。大病を患い克服したものの障害のなる仲間、皆んな目標をもってここに来ている1回完走できないで落ち込んでいるのが恥ずかしい。

31回目の挑戦。もう見慣れた景色、見慣れた道だが2年ぶりに目にしたゴール。チームの仲間や娘、孫みんなが出迎えてくれた。ここまでやってこれた。長かった簡単に一言では、言い表せない。30回完走だけを目標にひたすら目指してきた。このゴールが自分の人生の集大成だ。31年間の気持ちが込み上げてきた。達成の重みを身体全体で感じた。

今まで沢山完走をしてきたが最高の気持ちで一番のゴールに感じた。一生忘れられない。

知らない人まで何人も声をかけてくれる。 「来年またここで会いましょう」

その為にまた練習を頑張れる。 仲間がそこにいるそれだけでいい。

自分のペースで競技を楽しめ、競技者同士お互いを応援しあいながら大会を行う。

こんなにも長く選手として楽しめ、やりがいのある素敵なスポーツに出会えて幸せだ。皆生は、一区切りついたがトライアスロン人生は、これからも続く。自分らしく楽しんで競技をし、皆さんに楽しんでもらえる競技にしていきたい。

最後に大会関係ならびにご尽力頂いてる方々に心より感謝もうしあげ、広島県トライアスロン協会のご発展を心よりお祈り申し上げます。

私とトライアスロン協会

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
二代目理事長 谷口 薫



広島県トライアスロン協会の立ち上げ時から、理事として関与させていただき、県協会の発展とともに、私個人も大きく成長させていただきました。

道後山高原トライアスロンキャンプ&レースの立ち上げには、西城町役場の職員の方々の仕事終わりに合わせて、会議をするために広島から西城町まで足を運び、会議が終了すると一路広島へ帰宅、会議の日は毎回午前様でした。SWIMは大きなため池を利用したため、水温が非常に低く泣き出す子供さんもいました。それでもニュージーランドから招待した選手は、一生懸命力を出してくれて、大会を大変盛り上げてくれました。

ワールドトライアスロンin広島大会は立ち上げられた当時、まだ広島県トライアスロン協会は大会には関与しておらず、当時の日本トライアスロン協会が審判資格制度を設立したことを機に、大会に審判員を入れさせていただけないか、と話を持ち出したところ、「あんたらには、関係ない」この一言でその年は終わりました。次の年も、当時の理事長と二人で何度も通い、やっと「コースに入ってもええが、何もするなよ!」という言葉をいただき、レースを観察させていただくことができました。その次の年は、審判員の制服をつけてコース上に入る許可をいただきました。3年越しのお願いで、ひろしま大会に審判員を入れることができました。協会の熱心さに事務局から感謝を頂き、最後には国内選手権を実施することができました。

やはり近年の思い出は、みやじま大会の立ち上げです。私が任されたのは、SWIMコースの許可申請でした。海上保安部に伺い、最初に言われた言葉が「この資料とこの資料を、大会開催前一ヶ月以上前に提出してください。」の一言でした。間違いなく、7回は足を運びました。最後に提出した日は、大会開催2日前でした。無事スタートホーンが流れたとき、大会が終わってもないのにほっとしたことが、思い出されます。

トライアスロン協会と関わることで、多くの経験をさせていただきましたことに感謝するとともに、協会の益々のご発展を祈念いたします。

協会活動に従事して大切に思うもの

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
事務局 藤原 泰基



広島県トライアスロン協会設立25周年記念おめでとうございます。また、トライアスロンの発展普及にご尽力を頂いております大会主催者の方々、協会理事OBならびに協会会員の皆様ありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げさせていただきます。

皆生大会に10回、宮島大会に6回、その他数えきれない位大会にに参加させて頂き、トライアスロン三昧の40代でした。転機として参加した大会スタッフの中に幼馴染やトライアスロン仲間の姿を目にした事、学生時代から悩まされていた貧血の悪化もあり、「大会支援者」としてトライアスロンに参加する決意に至り審判員となり、チャンスが巡って協会役員の任を頂き、理事活動を続けています。

トライアスロン大会はなんといっても“日常の生活場所”を会場とするので、「行政」「地域」の協力と「協賛スポンサー」そして、すべてを取りまとめ大会開催を担う「実行委員会」これの円滑な連携で大会開催は実現します。この中で協会理事は「トライアスロンの競技・運営・安全に関する専門スキルを持つエキスパート」としての助言、支援を行い円滑な連携を促進するの大切な役割と感じています。

そこで私が大切に思うのが「トライアスロン競技の専門者としてのスキルアップ」。

そのため、「世界大会から地域のローカル大会」へ審判員、ボランティア、選手として参加をし、さまざまな情報を現場で吸収しています。最近ではお台場で開催された東京2020トライアスロンテストマッチにフィールドキャストで参加し、世界ランクTOP10選手のレースを目の当たりにしてきました。

そして、もう一つ大切なのが広島県トライアスロン協会会員様約600名の方々の声をしっかりと聞き、協会の運営ベクトルがニーズマッチして行くようにすることです。会員の皆様、総会に参加して頂き厳しい目そして生の声をお聞かせください。

最後になりますが、私の故郷は皆生トライアスロン大会開催地の鳥取県米子市ランコース沿いです。なつかしい方言の中でいつかは地元に戻ってこの大会の実行委員のメンバーとして参加できればと思っています。

25歳は人もこれから

Team UNDER

代表 下 隆 俊



広島県トライアスロン協会、創立25周年ほんとうにおめでとうございます。

輝かしいご発展を遂げられた皆様の情熱に敬意を表し、さらなる飛躍を期待しています。

さて、私事今年は人生の節目とも言うべき還暦を迎え消防生活も42年目となり退職へ向けてのカウントダウンが始まっています。

消防士だったからこそ始めたトライアスロン、災害現場での絶対に最後まで諦めない熱い気持ちや体力は共通する。1986年今から33年も前になりますが地元呉市を中心に周辺6町を舞台に開催された「第1回ワールドトライアスロンinひろしま」に応募したが落選し奮起、第2回大会からの参加となった訳ですが今思ってもすごい大会でしたね、スイムは海上自衛隊第1術科学校から江田島湾を横断する2.6km、バイクは能美島～江田島～倉橋島を走る103.7km、ランは呉市中央公園をゴールとする25.3kmと1市6町を通過する国内屈指の起伏の激しいワンウェイコースでした。この大会に出場したことがきっかけで私のトライアスロン人生が大きく動き始めました。大会を通じて世界選手権への派遣や宮古島、皆生やハワイアイアンマンなど数多くの大会に出場しました。が、順風満帆と思われた競技活動は諸事情により約10年間トライアスロンから遠ざかることになってしまいました。

なのになぜ今またトライアスロンを、それは職場の仲間が「さぎしま大会」へ出場するというので応援に行った事がきっかけでした。当然、眠っていた50歳になる私のトライアスリート魂に火が付いた訳ですが根幹にはトライアスロンというスポーツが素晴らしい生涯スポーツである。とっていることがありました。そして皆生の第30回記念大会が重なったことも大きかった、開催時期やコース、距離や歴史すべてが真夏の頂上決戦にふさわしい大会だと自負し、ますますトライアスロンにはまってしまいました！

人間なんて弱い者ですしたった一度の人生です。これからも元気な身体に感謝してトライアスロンを通じてできた沢山の仲間や家族と共に楽しい人生を送りたいですね、広島県協会も今後30年40年と引き続きトライアスロンの普及啓発にご尽力いただき、ますます飛躍していくことを心より期待しています。

まごころが「いのち」を煌めかせ 夢をつなぎ続けるトライアスロン

マインド・トライアスリート
福元 哲郎 (テッロー)



1994年協会設立と同じ頃、私はトライアスロン人生を切り開き始めたことを知る。当時、日の丸をつけたいと夢を追って陸上界で生きたが日の丸のは遠かった。何か悶々としていたそんな時(大学4年)トライアスロンの第1回日本選手権が岐阜県の長良川大会で開催されたことを知った。トライアスロンの世界でどこまで行けるかと心が熱くなったことを思いだす。大学4年生の時に第5回さぎしまトライアスロンへ申し込んだ。大学へ陸上で進学している立場上で簡単にはトライアスロンへ出場できなかったが、ゼミの柳川優和先生と陸上部の宮広重夫監督へ卒論を絡める形にし出場が叶った。卒論研究だから、途中で小型心電図の機械をつけたり、血を抜いたり、ロスタイムは多かったが総合6位に入賞し、希望に心躍ったことを思いだす。このころ半生をトライアスロンで生きていくとは思っていなかっただろうが…

三原市役所へ入庁後からトライアスロンを本格化していった。当時、県内で「ワールとトライアスロン in ひろしま」の名で全国規模のレースがあった。高校時代にその放送を見て先頭を走る山本光宏氏の姿にくぎ付けになった。できそうだと勝手に思い心にしまっていた。だから迷わず社会人一発目はそのレースだった。現在のミドルとロングの間の距離だが、当時はみな同じトライアスロンだった。鉄人レースとイベント色が強かったが、10回大会でデビューし広島県初の入賞で華々しく足を踏み入れトライアスロン人生を確定していった。

トライアスロンとはを教えてくれたのは小さな自転車店の故松本勇司氏や坂根啓一氏たちだった。当時、広島県トライアスロン協会を立ち上げた吉村光俊初代理事長は私の良き理解者。「トライアスロンをイベントから競技にしたい。」練習環境の整備や遠征を同行し、若くお金がなかった私は助けられた。「日本選手権へ行ってこい！」と、その頃を支えた吉村氏、トクナガサイクル徳永克彦社長、当時JSS廿日市で指導をくれた田中義弘氏。そんな優しさの中で私はトライアスロンの夢を膨らませ2003年に人生初の日の丸をまとい世界へ飛び出せた。協会設立25周年は、私もトライアスロンと共に生きた時間である。これからの時間を感謝の形にできるよう生きたい。2003年、世界への挑戦をご準備頂いたJTU大塚眞一郎専務も、遠くで心を支えてくれた八尾彰一氏も…「心を寄せていただいたすべての人へ感謝いたします」

初めてトライアスロンの スイムスタート地点に立ったのは 26年前の1993年の さぎしま大会でした

福山鉄人会

西 元 雅 憲



私がトライアスロンを始めるきっかけとなったのは、皆生で行われていた大会でした。ふとテレビに目を移すとまぶしいほどの朝陽を受けた浜が映し出されていました。そこには真っ黒なウェアをまとった集団、号砲と共にそのアメーバーのような塊がまさに泳ぎ出そうとする光景でした。初めは何をやっているのか理解できず、自転車、ランニングと一人の人間がそれをこなしている。こんな事が可能なのかと衝撃と感動で心が揺さぶられました。この時初めてトライアスロンと言う競技を知り、いつか自分も・・と思った瞬間でした。しかし、当時の職場環境はエントリーするには程遠い状況でした。そして14年後の転職を期にそのチャンスは訪れました。あらゆる大会に応募するも送られて来たハガキに記されていたのは落選の二文字。それでも諦めきれずにさぎしま大会の主催者、三原公民館の館長に、これまでやって来た練習、そしてトライアスロンへの熱い思いを直接ぶつけました。結果、参加費未納選手のゼッケンを頂き、念願のトライアスロン出場(第3回さぎしま大会)に漕ぎつける事が出来ました。この時の喜び、感激は今も深く胸に刻まれています。(また旅館組合までのアピールライドの翌年には皆生の権利も獲得)そして、通算出場100回を迎える事になった2009年4月19日の宮古島大会を期に18年の競技生活にピリオドを打ちました。

競技を継続する目的は個人によって異なると思いますが、私の場合ハワイ島コナで開催されるワールド・トライアスロンチャンピオンシップへの出場でした。

参加して(1996年)驚いた事はハンディキャップ部門の選手達でした。彼らは松葉づえ、車イス、義足でゴールを目指すのです。五体満足である私のアイアンマン挑戦など、彼らの夢の実現に向けての不屈の精神力とは比較にならないほど小さく感じられました。何事にも負けない強いモチベーションで、夢に向かって邁進して行く事は夢が夢でなくなり、それはいつか現実が変わって行くという事です。これは人生のあらゆるシーンでも言える事です。

現在の日本選手のレベルは海外の選手に後塵を拝している状況です。広島から有望なアスリートが続々と世界に向けて飛び立ち、活躍する事を切に願っています。

最後になりましたが、広島県トライアスロン協会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

協会の未来

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
普及部・プロスイムコーチ
前 峠 寛 和



25周年並びに法人設立おめでとうございます。

協会に入ってもない私が、このような瞬間に立ち会うことがなでき、大変喜ばしく感じております。私が広島県トライアスロン協会の一員として、どのような活動協会にしていきたいか、自己紹介も含め私が理事になった経緯からお話しさせてください。

私の家族は水泳一家で、家族全員全国大会出場している一家です。私も高校の頃には、JOC.インターハイ.国体など数多くの大会で入賞し、リレーや個人含め日本ランキング、世界ランキングにも入る選手になっており、全国に行くのも当たり前感じていました。しかしその後は長い間タイムが伸び悩み、勝てなくなり、タイムを出し勝ってこそスポーツだと考えていた私には、すごく辛い日々でした。元々何も言わない両親からは、もっと水泳を通して色々なことを楽しみ学びなさいと言われ、その意味が理解できず楽しんでいる余裕なんてありませんでした。自分の理想の水泳像や固定概念などが、さらに自分自身を押しつぶし孤立していく日々。大学進学時に拠点を広島から千葉に移し、水泳だけではなくOWS(オープンウォータースイム)やライフセーバーなど数多くのスポーツの経験をしていく中で、いろんな競技に対する考え方や魅力。本当の意味での、スポーツの楽しさを知ることができ、やっと両親に言われていた意味を知る事ができました。その後、スポーツの楽しさ！外に出たからこそ分かる広島の魅力！その思いを伝えたく、指導者として広島に帰ってきました。その頃に、トライアスロンのイベントを応援に行った際、参加者、応援者、ボランティア関係なく潑刺な様を見て感動を覚えました。また、協会が運営する活気あるイベントの数々に感銘を受け、私もこの活気あるイベントを多くの人に提供できる一員になりたいとの思いで、広島県トライアスロン協会理事に普及担当として就任いたしました。

今年は『倉橋OWS』は2回目となり、広島原爆ドームがゴール地点となる『広島太田川OWS』など企画させてもらい。大きな事故なく成功させることができました。広島から世界へ向けて発信できるイベントなどを、企画開催していければと考えております。スポーツを通し『広島の活性化』広島の元気で、明るい、未来のためにもこの思いを形にしていきたいと考えております。

最後になりますが、今後広島県トライアスロン協会が更なるご発展をとげられるよう、祈念申し上げます。

広島県トライアスロン協会 創立25周年を迎えられ、 心よりお祝い申し上げます。

UP-DRAFT

代 表 小 林 歩



私は2008年広島大学入学時より11年間、県協会の皆様にお世話になってきました。その感謝の気持ちとともに県協会の皆様とのエピソードを振り返りたいと思います。

「広島大学トライアスロン部Gulls」としての6年間は、中四国学連の担当理事の方には特に面倒を見ていただきました。中四インカレならびに全日本インカレの運営など、県協会の皆様のサポートなしには成り立ちません。「広島」を背負って、全日本インカレ個人優勝、全日本インカレ男子団体3位入賞というリザルトを学生時代に残せたことは、とても誇らしく思います。

大学を卒業し、プロ活動を開始した2014年からは「UP-DRAFT」というチームを立ち上げました。当初から「自分の活動を、社会に影響を与えるものにしたい」と考えていました。所属メンバーにも恵まれ、普及イベントの企画・運営も積極的に行ってきました。中でも自動車学校を活用した「チャレンジデュアスロン」は、メンバーと作る思い出のあるイベントです。

これらのイベントは、協会理事の方や、他クラブチームの方、企業の方にも協力していただきました。社会に出てからは、県協会に所属する方々との繋がりをより強く感じるようになりました。

2019年3月をもちまして、5年間続けてきたプロ活動には終止符を打ちましたが、その間、広島県と中国ブロックの代表として国体や日本選手権を戦いました。2018年福井国体では二分選手、池田選手(兄、妹)とともに天皇杯男女団体で6位入賞することができました。日本選手権は年々順位を上げたものの、最高位は23位。最高峰のレースの厳しさを味わいましたが、何度も挑戦できたことに感謝しています。広島県協会に所属する方々からは、いつも格別な声援をいただき、最高に幸せでした。ありがとうございました！

広島県は、エントリー向けのイベントやOWS大会などジャンルを広げた取り組みも増えていますね。私も、これからも広島県のトライアスロンの盛り上げに関わっていきたいと思います。

個人的には、公園で遊ぶ気軽さで老若男女いつでもトライアスロンを楽しめる。そんなトライアスロンパークが作れたら楽しいだろうな。と妄想しています。

今後も広島県トライアスロン協会の発展を心より祈念しております。

トライアスロンは大人の遊び場



広島市立大学トライアスロン部OB
川口 淳

広島県トライアスロン協会の皆さま、創立25周年並びに一般社団法人設立におきまして誠にお祝い申し上げます。

私はまだ2012年の広島市立大学入学から数えてトライアスロン歴8年目の社会的にも競技歴的にも若輩者です。そんな若輩者が光栄なことに25周年記念誌に寄稿させていただけるとのことで何を書こうか迷った結果、私がどうしてこのトライアスロンに心酔するほどハマってしまったのかをこちらでは語らせていただこうと思います。

前述の通り私は大学からトライアスロンを始めました。大学生活の内、特に最初の2年間は学生レース中心で1分1秒でも速くする余裕のないレースを行っていました。しかし、ある時余裕がない自分が嫌になり、まだ余裕があるぞと見栄を張るつもりで応援に対して声を出して反応をするようにしました。するとどうしたことでしょうか、炎天下の中にも関わらず沿道の応援の方が「おお元気じゃのう、頑張れ!!」と笑顔を増して更にエールを返してくれました。その笑顔を見たときに自分の走る姿・レース風景からも選手から応援の方へ元気や笑顔届けられるのだと実感することが出来ました。それが私にはとても嬉しく、きつかったレースがとても楽しいものになっていきました。ここから始まった自分の楽しさ追及は、次に同じ境遇のコース上の選手たちに向かっていきました。人見知りの私ですがチーム名は分かるため、すれ違う度に『〇〇(チーム名)ファイトー!!』とまずは声をかけてみました。すると、キツイながらも反応はそれぞれですが返ってきました。選手同士の絆が生まれた瞬間です。トライアスロンの楽しみがまた一つ増えました。更にレース後声をかけてくれる方もいらっしゃり知り合い(友達)が増えました。この段階でもうレース会場は友達との遊び場となりました。こうしてレースを楽しみ続けた結果、現在のようにトライアスロン中毒者のようにどっぷりハマってしまいました。

以上、若造がなに場違いなことを語るかという内容になってしまいましたが、私のようなトライアスロンを楽しみきる選手が今後も増え続け、広島県トライアスロン協会が益々繁栄していくことを心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

御 礼

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
副理事長／事務局長
三宅 泰雄



広島県トライアスロン協会設立25周年おめでとうございます。また、トライアスロン大会の運営にご協力いただいている関係者の皆様、協会をご支援いただいている協会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

私はトライアスロン経験が浅いのですが、縁あって事務局長として協会運営に携わらせていただいています。日々勉強でまだまだ至らぬ点が多く、会員の皆様へご迷惑をおかけしています。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

私が日々事務局業務を行う中で“広島県トライアスロン協会は協会と会員様の距離が近い”と感じています。協会と会員様が非常にアットホームな関係で、他の競技団体ではなかなかないことだと思います。

今年広島県トライアスロン協会は法人化し一般社団法人となりましたが、私達事務局は会員様との距離を更に近くできるよう日々業務に努めます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



第1回くらはし OWS 大会



第2回くらはし OWS 大会

「第1回、第2回広島 OWS の実行委員長を務めさせていただきました」



2018 広島トライアスロン協会総会



初トライアスロン大会のゴール

広島県トライアスロン協会 創立25周年への御礼

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
副理事長／普及部部长
北村 格一



広島県トライアスロン協会創立25周年、誠におめでとうございます。この節目の時を迎えることができましたのは、歴代の理事長、理事の皆様、協会員の皆様のご尽力の賜物であり、深く感謝致します。

近年の普及部の取り組みとして、協会員の皆様にトライアスロンをより楽しく、そして長く続けて頂くために、また競技を始めてみたい方のために、2017年より講習会を開催してきました。



2017年11月4日(土)由宇海岸OWS講習会

前峠講師のご協力を頂き、OWS(自然の水中での水泳競技)講習会を行いました。トライアスロン競技は、スイムを海や川で行うために、少しでもスイムに自信をつけて頂きたい思いで開催致しました。おかげさまで、多くの方に参加して頂きました。



2018年1月21日(日)ヒルクライムを克服するためのバイク講習会

この講習会は広島県は、宮島大会や、福山大会など、バイクで山岳エリアがあり、プロ選手に教えて頂ければ、山岳エリアが得意になるのではとの思いで開催しました。講師はプロ自転車レースチームのヴィクトワール広島の中山監督と選手の皆様に担当して頂きました。



2018年6月2日(土)由宇海岸OWS講習会

前峠講師に担当して頂き、講習会を行いました。大会シーズン前に海でのスイムを体験し、スイム強化に役立てて頂くことを目的として開催致しました。

2018年10月20日(日)トライアスリートのためのラン講習会

生涯楽しく走り続けてくためのランニング技術の取得を目的として、松本講師をお迎えして、講習会を行いました。競技を続けていく中で、できるだけ故障せずに長く競技を続けて頂きたい思いで、この講習会を企画致しました。



2019年5月6日(月・祝)トライアスリートのためのバイク講習会

プロトライアスリートの福元テツロー講師、自転車ロードレース選手の藤田講師より、バイク技術をお教え頂きました。主にバイク操作技術、ペダリング技術、パンク修理のバイクメンテナンス技術等の講習会を行って頂きました。

トップレベルの競技者からの講習を受けることで、選手の皆様がトライアスロンを楽しく、長く続けていくためのお役に立てるように、今後もこのような講習会を開催していきたいと考えております。

トライアスロンはオリンピックや国体の種目としての競技スポーツであるとともに、ジュニアから年配の方まで幅広い世代が取り組める生涯スポーツでもあります。

今後、広島県トライアスロン協会普及部としては、選手の皆様および競技に関わるすべての方々が、トライアスロンに楽しく取り組める環境を作っていくお手伝いができればと考えております。

終わりに、今後の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

大会運営に思う

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
副理事長／大会運営部部長
宇田 泰稔



広島県トライアスロン協会の25周年誠におめでとうございます。

四半世紀の長きにわたり発展を続けてこられたのは、歴代の会長、理事長はじめ多くの役員のトライアスロンに対する熱意と情熱にほかなりません。また、会員の皆様及び広島県で開催される大会に参加いただいた数多くのアスリートの皆様及び大会運営に携わってこられた方々に感謝申し上げます。

広島県には、今年30回を迎えた『さぎしまトライアスロン大会』、JTU公認大会である『はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会』等全国でも有数の大会が開催されています。2016年・2017年には『しまなみ海道トライアスロンin尾道』が2年間ではありましたがJTU公認大会として開催にこぎつけました。今後再開されることを期待します。福山市でも2017年から『せとうち福山-鞆の浦トライアスロン』がJTU公認大会として開催され全国から多くのアスリートを呼び、福山市のPR及び活性化に大きく貢献することとなりました。

しかしながら、大会運営に関しては近年異常気象の影響を受け、多くの大会が中止を余儀なくされています。

岡山県で開催されている『倉敷国際トライアスロン大会』は、2017年は台風直撃により中止。2018年は、7月の西日本豪雨災害により2年連続の中止となりました。同じく岡山県の『湯原温泉トライアスロン大会』も、2018年の西日本豪雨災害により2018年、2019年と中止となっております。

広島県に於いても、ひと月程前に開催予定であった『せとうち福山-鞆の浦トライアスロン2019』が、全国的に甚大な被害をもたらした台風19号の影響で中止せざるを得なくなるとともに全国でも多くの大会が、中止や縮小に追い込まれてきています。自然相手の競技とはいえ運営に携わってこられた方々の心中は、察するに余りあり、敬意を表します。

広島県トライアスロン協会が今後半世紀・一世紀と無限に発展する事をお祈りいたします。

トライアスロンと審伴の出会い

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
審判部 大 附 邦 彦



(一社)広島県トライアスロン協会創立25周年、誠におめでとうございます。県内の勇士により立ち上げされ、25年が経ち心からお祝い申し上げます。創立以来、広島県内各地で大会が産声を上げ、サポート等を行っています。

トライアスロンは、1974年にアメリカ・カリフォルニア州サンディエゴ市で世界最初のトライアスロン大会が開催され、日本では 1981年鳥取県米子市皆生で国内最初のトライアスロン大会が開催され、広島県は1986年にワールドトライアスロンイン・ひろしまが開催され、33年の年月が過ぎ現在に至っています。その間、ジュニアトライアスロンINのうみ、スイムラン蒲刈、道後山高原トライアスロン、トライアスロンさぎしま、デュアスロンヒロシマ、瀬戸内マリンブルートライアスロン、ビギナーストライアスロンINグリーンピア等の大会が開催されました。

私が、トライアスロンとの出会いは、地元で開催されていたワールドトライアスロンインひろしまに職場の同僚が参加したのが最初の出会いでした。大会に出る同僚のサポートを行いその勢いで大会への出場が決まり、大会へ出場しました。その後地元での大会が終了したのを機会にトライアスロンとの関係がこれで終わりかと思いましたが、当時の広島県トライアスロン協会の関係者に地元の後輩が役員をしていた関係で、審判資格を受講してみないかと言われ、軽い気持ちで受験し第3種審判員資格証に合格をしました。

その後、各大会の審判員として従事していましたが、縁があり協会の理事として協会運営にも携わってまいりました。協会運営については、審判部に籍を置き審判員資格試験・講習会の開催、大会への審判員の募集、大会への審判員派遣等の業務を主に行ってきました。県内各地で行われている各大会が末永く存続させるためには、地元関係各位及びボランティアと協会が中心となり、大会への助言、支援活動を行い円滑な連携を図り、促進する大切な役割と感じています。

最後になりますが、みなさまにはこれまで同様のご指導ご鞭撻ご交流をいただき、トライアスロンを通して、人と人のつながりの原点を忘れることなく、とりあえずは次の節目に向かい新たな一歩を踏み出す所存です。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

海や川で安全に 泳いで頂くために

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
水上安全管理部 河本 明子



一般社団法人広島県トライアスロン協会の法人設立並びに創立 25 周年、誠におめでとうございます。皆さまと共に喜びを分かち合える事、大変光栄に思います。

現在、水上安全担当理事として、爽やかで素敵なアスリート達と共にスポーツイベントの企画運営などのお手伝いをさせて頂いています。

これまで諸先輩方が積み重ねられたノウハウや実績に、ただ頭が下がるばかりです。

私は子供の頃より日本泳法に取り組んでいました。日本泳法の特徴に、周囲を見ながら泳げること、泳ぎながら手足を使うことができること、体力を消耗しない泳法であることなどがあります。

それ故、日赤の救助員や指導員として活躍される先輩も多く、自身も学生時代から日赤水安救助員として活動してきました。水の事故の芽を見つける目も養われてきたのかもしれません。誰よりも水が好きで、だからこそ水の事故は何より悲しく、水の事故を防ぐための活動には心底熱が入ります。

トライアスロンとの出会いは、宮島トライアスロンでライフセーバーをしていたところからです。その後、J T Uの審判としていろいろな大会のお手伝いをさせて頂いたり、審判講習で応急手当など実技講習の補助をさせて頂いていました。そんな中、理事就任のお声掛けを頂きました。

ライフセーバーの選定をはじめとする水上安全管理、安全に関する講習会の開催、スイムを中心とするスポーツイベントの企画運営に携わることができること、そして何より広島県トライアスロン協会の皆様のお仲間に加えて頂きたいと思い、お請けした次第です。

今後も安全第一に、特色ある魅力的なスポーツイベントを皆様と創り上げていきたいと考えています。選手もスタッフも、ベテランから初心者まで、安全に楽しめることがなによりですね。

引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



2019年10月6日第2回広島OWS スターターは新原呉市長

多くの人を輝かせ、 感動を与えるスポーツに

一般社団法人
広島県トライアスロン協会
強化国体部 部長 長崎 隼太



トライアスロンは「鉄人レース」とも呼ばれるように、過酷なイメージの強いスポーツです。それはアイアンマンと呼ばれるロングディスタンスのレースのイメージが強いという事もありますが、普通なら一つで十分と言える競技を、一度に三つも連続して行うという特殊なスポーツであるからでしょう。しかしその特殊さこそがトライアスロンの最大の魅力だと思います。「泳ぐのは遅いけど、バイクとランで追いついてみせる」という選手、「走るのは苦手だけど得意なスイムとバイクで逃げ切ってやる」という選手、「どれも飛び抜けたものは無いけれど、バランスの良さで勝負する」という選手など、皆が自分の個性を輝かせながらレースをしていく事の出来るスポーツだと思うのです。



photo by @ 酒井 元也



photo by @ 酒井 元也

【写真は昨年の福井国体
中央に写るのが広島県成年男子代表の
池田康智選手】

池田選手は3歳から高校卒業まで競泳に取り組み、得意なスイムを活かしたいと大学でトライアスロン部に入部。そしてバイクとランも鍛え上げ、大学4年の秋には国体3位入賞を果たしました。

まだ若年層には認知度が低く普及の遅れているトライアスロンですが、トライアスロンに出会う事でより一層輝く事の出来る子供が沢山いると思います。

強化国体部では記録会やキッズアクアスロン体験会などを開催し、トライアスロンに興味を持ってくれる子供、そして実際に競技に取り組む子供が増えるよう活動を行っています。今後も更なる普及活動を続けながら、この子供達が継続して競技に取り組んでいける練習環境作り、その練習の成果を発揮する場であるレース環境作りを進めていきます。そして多くの人に感動を与え、皆が応援したくなるような選手を増やしていく事で、広島のトライアスロンを盛り上げていきたいと思っています。

一般社団法人広島県トライアスロン協会の歩み (1)

広島県協会は、お陰様で本年ようやく任意団体から一般社団法人として自主独立した組織になりました。感謝の気持ちを忘れることなく、スポーツ団体としての責務をしっかりと果たす所存です。私たちは、会員の皆様（今年度 男性507名・女性43名）に寄り添う協会を目指しています。この記念誌が皆様の目に留まり、協会に少しでも興味を持って頂き、大会・講習会・総会などへの参加、ボランティア・審判活動につながれば大変嬉しく思います。

さて、2014年創立20周年の折にも、記念誌を作成し、協会のことを少しPRさせていただきました。そこでは、成人するまでの歩みを記し、その記録は協会のホームページでも紹介しています。そして、この紙面では、それから現在までの5年間の主だった活動を記しております。今後共、協会活動にご支援、ご協力を心からお願いいたします。



一般社団法人
広島県トライアスロン協会
理事長 吉村 千春

2015

- 3月 1日 JTU認定記録会 《スイム;JSS広島 ラン;広島経済大学陸上競技場》
- 4月12日 第22回広島県トライアスロン協会総会 (於;ふくやま市民交流会)
- 4月26日 アジア選手権試泳会 *スイムのみ
- 5月31日 宮島トライアスロンBIKE練習会 *呉消防 下隆俊さんの指導
- 6月 7日 練習会 in 蒲刈 *県協会登録のトライアスロンチーム合同で初めて行う
- 6月14日 第9回はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会
- 7月19日 第16回アクアスロンくらはし大会
- 8月30日 第26回トライアスロンさぎしま大会
- 9月 6日 宮島ジュニアトライアスロン大会 *雨で中止
- 9月13日 おのみちしまなみトライアスロン大会 中止*メインスポンサー企業が降る
- 9月20日 第6回安芸太田しわいマラソン
- 10月17日 第2回湯の山ジュニアトライアスロン
- 11月 8日 デュアスロン広島

2015

2016

- 3月20日 JTU認定記録会 《スイム;JSS広島 ラン;広島経済大学陸上競技場》
- 4月29日 ~5月1日 ASTCアジアトライアスロン選手権2016・廿日市アジア
- 5月22日 第23回広島県トライアスロン協会総会 (於;広島市まちづくり交流プラザ)
- 6月12日 第1回大崎上島HAPPYトライアスロン
- 7月 3日 第10回はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会
*リレー部門に県庁チームとして湯崎英彦知事がバイク担当で参加

2016

一般社団法人広島県トライアスロン協会の歩み (2)

2016

- 7月17日 第17回アクアスロンくらはし大会
- 8月12日 廿日市縦断宮島国際パワートライアスロン大会10周年を祝い感謝会開催いたしました
- 8月21日 第27回トライアスロンさぎしま大会 *2009年に続きスィム競技中に死亡事故発生
- 9月11日 第1回しまなみ海道トライアスロン大会 in 尾道 *幻の大会となる
- 9月18日 第7回安芸太田しわいマラソン
- 10月 2日 第71回希望郷いわて国体トライアスロン競技大会 女子;二分陽子・坂根三保
男子;小林歩・池田康智 *初めてトライアスロンが国体正式競技となった
- 10月10日 福山トライアスロン大会 *運営体制・コース設定に課題があり来年に延期
- 11月 6日 デュアスロン広島

2017

- 2月19日 JIU認定記録会 《スィム;JSS広島 ラン;広島経済大学陸上競技場》
- 4月 9日 第24回広島県トライアスロン協会総会 (於;広島市まちづくり交流プラザ)
*プロトライアスリート福元哲郎氏による特別講座 ~懇親会
- 5月13日 第1回津和野街道早駆け大会 *廿日市市正覚院から津和野町まで距離97.2*。
- 5月28日 宮島大会バイク試走会
- 6月 4日 第1回ローズカップ福山一輛の浦トライアスロン *やっと開催されました
- 6月10日 第1回大崎上島HAPPYトライアスロンジュニアチャレンジ
- 6月11日 第2回大崎上島HAPPYトライアスロン
- 6月25日 第11回はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会
*実行委員長が細川匡廿日市商工会議所会頭から竹内昇大青年部直前会長に
- 7月18日 第18回アクアスロンくらはし大会
- 7月23日 今治伯方島トライアスロン *愛媛国体イベント事業
- 7月30日 第1回龍姫湖アクアスロン in 温井ダム2017
- 8月20日 第28回トライアスロンさぎしま大会
- 9月10日 しまなみ海道トライアスロン大会 in 尾道2017
- 9月30日 第72回笑顔つなぐ愛媛国体 *トライアスロン競技なし
- ~10月10日
- 10月22日 デュアスロン広島

2017

2018

- 1月21日 ヒルクライム練習会 *ヴィクトワール広島の 中山監督やプロの選手から学ぶ
- 3月11日 第25回広島県トライアスロン協会総会 (於;グリーンアリーナ 中会議室)
*日本トライアスロン界のレジェンド田山寛豪講師の特別講座~懇親会
- 3月14日 JIU認定記録会 《スィム;JSS広島 ラン;広島広域公園エディオンスタジアム》
- 5月13日 第2回津和野街道早駆け大会 *津和野町から廿日市市正覚院まで距離100*。
- 5月27日 宮島大会バイク&ランコース練習会 *従来のバイク練習会にランを加える
- 6月 9日 第2回大崎上島HAPPYジュニアチャレンジ *中学生カテゴリー新設
- 6月10日 第3回大崎上島HAPPYトライアスロン
- 6月10日 第2回ローズカップ福山一輛の浦トライアスロン大会

2018

一般社団法人広島県トライアスロン協会の歩み (3)

2018

- 6月17日 第2回龍姫湖アクアスロン in 温井ダム
- 7月 1日 第12回はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会 *スィムでの重溺事故発生
- 7月15日 第19回アクアスロンくらはし大会 *豪雨災害で中止
- 8月26日 第29回トライアスロンさぎしま大会
- 10月 7日 第73回福井しあわせ元気国体2018 *広島県代表の池田康智選手が3位入賞
- 10月14日 第1回広島OWS大会 in 倉橋 *県下で初めてのOWS大会を開催する

2018

2019

- 1月 4日 広島県トライアスロン協会が一般社団法人として再出発
- 3月 3日 第1回恐羅漢ヴァーチカルレース *標高差400mの雪上ランニング大会
- 3月10日 JIU認定記録会 《スィム;JSS広島 ラン;広島広域公園エディオンスタジアム》
- 3月10日 第26回広島県トライアスロン協会総会 (於;グリーンアリーナ 小会議室)
*昨年に続き、四度のオリンピック出場、田山寛豪講師による特別講座～懇親会
- 3月24日 デュアスロン広島2019春 *昨年秋の大会が豪雨災害で中止となった為
- 6月 8日 第3回大崎上島HAPPYトライアスロンジュニアチャレンジ
- 6月 9日 第4回大崎上島HAPPYトライアスロン
- 6月16日 第13回はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会
- 6月30日 第3回龍姫湖アクアスロン in 温井ダム *悪天候につき中止
- 7月14日 第20回アクアスロンくらはし大会
- 8月18日 第30回トライアスロンさぎしま大会 *地元方々とささやかな感謝会を開催
- 9月 1日 第1回広島太田川OWS大会 *松井一寛広島市長によるスタートの号砲
- 9月29日 第74回いきいき茨城ゆめ国体トライアスロン競技
- 10月 5日 ヒロシマジュニアアクアスロン大会 in ベイサイドビーチ坂
- 10月 6日 第2回広島OWS大会 in 倉橋 *新原芳明呉市長によるスタートの号砲
- 10月13日 第3回ローズカップ福山一輛の浦トライアスロン *台風接近の為中止
- 11月 9日 広島県トライアスロン協会、法人設立祝賀会並びに25周年記念式典
- 11月10日 デュアスロン広島2019秋

2019

◆上記の各事業は、広島県トライアスロン協会が、主催・競技主幹・協力・後援等をした大会です。

ビギナーズトライアスロン大会・チャレンジデュアスロン道祖園自動車学校・トライアスロンレベルアップセミナー・由宇海岸OWS講習会・スィム講習会福山スイミングスクール・キッズアクアスロン無料体験会・ジュニアトライアスロン練習会・ラン講習会等は、紙面の関係上、省かせていただきました。

Special thanks ～協賛・協力企業、団体の皆さま～

リコネット・アドライン・みずま工房・広島修道大学・広島経済大学・山陽女子短期大学・JSS広島中央森林公園・倉橋島森本医院・広島ホームテレビ・三幸食品工業・タバタ・デリカウイング・八天堂オタフクソース・やまだ屋・アトム・霧島酒造・味の素・大塚製薬・大塚製薬工場・喜勝印刷・亀齢酒造・日本基準寝具ひろしま美術館・中国電設工業・ひろしまSUPクラブ・江田島シーサポート・ヴィクトワール広島・微妙福祉会

大会・講演・講習チラシ一覧

会員の皆様にご案内した、大会、講演、講習会、講座、体験会、練習会、記録会のチラシ一覧

2007



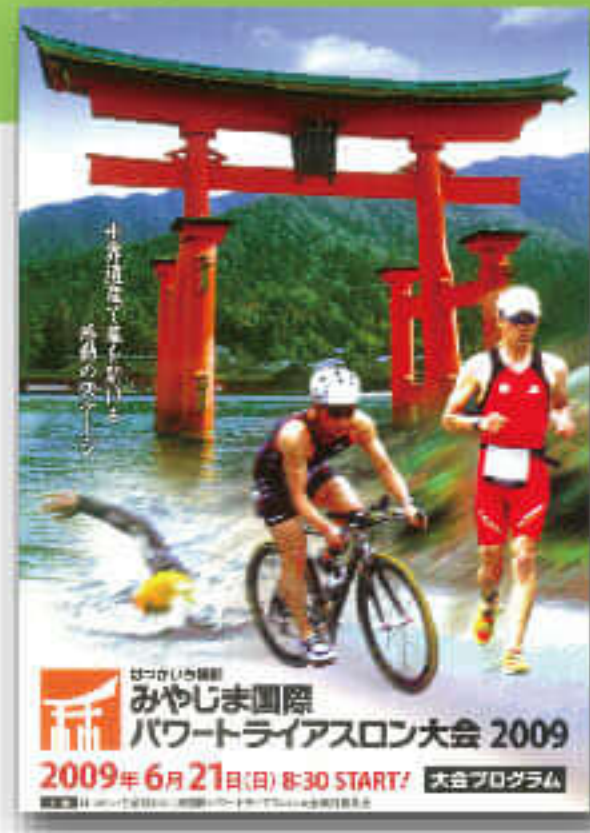
第1回みやじま国際パワートライアスロン大会2007

2008



第2回みやじま国際パワートライアスロン大会2008

2009



第3回みやじま国際パワートライアスロン大会2009

2010



第4回みやじま国際パワートライアスロン大会2010

2011



第5回みやじま国際パワートライアスロン大会2011

2012



第6回みやじま国際パワートライアスロン大会2012

2013



第7回みやじま国際パワートライアスロン大会2013

2013



2013宮島ジュニアトライアスロン大会

2013



2013デュアスロン広島

2014



第8回みやじま国際パワートライアスロン大会2014

2014



2014宮島ジュニアトライアスロン大会

2014



2014デュアスロン広島

2015



第9回みやじま国際パワートライアスロン大会2015

2015



2015宮島ジュニアトライアスロン大会

2015



2015デュアスロン広島

2016



ASTCアジアトライアスロン選手権／廿日市2016

2016



第10回みやじま国際パワートライアスロン大会2016

2016



2016デュアスロン広島

2017



2017キッズ&ジュニアスイム&ラン認定記録会

2017



第24回広島県トライアスロン協会定期総会トライアスロントレーニング講座

2017



せとうち福山・鞆の浦トライアスロン2017

2017



第11回みやじま国際パワートライアスロン大会2017

2017



2017トライアスロンレベルアップ講座

2017



2017キッズアクアスロン体験会

2017



2017デュアスロン広島

2018



ヒルクライムバイク講習会

2018



ジュニアトライアスロンスイム&ラン認定記録会

2018



第25回広島県トライアスロン協会定期総会トライアスロン特別講座

2018



第4回トライアスロンレベルアップ講座

2018



OWS講習会

2018



2018大崎上島HAPPYトライアスロンジュニアチャレンジ

2018



2018キッズアクアスロン体験会

2018



第11回みやじま国際パワートライアスロン大会2018

2018



第1回広島OWS(倉橋)

2018



ラン講習会(福山)

2018



ジュニアトライアスロン練習会

2019



ジュニアトライアスロン練習会

2019



ジュニアトライアスロンスイム&ラン認定記録会

2019



第26回広島県トライアスロン協会定期総会トライアスロン特別講座

2019



2019春デュアスロン広島

2019



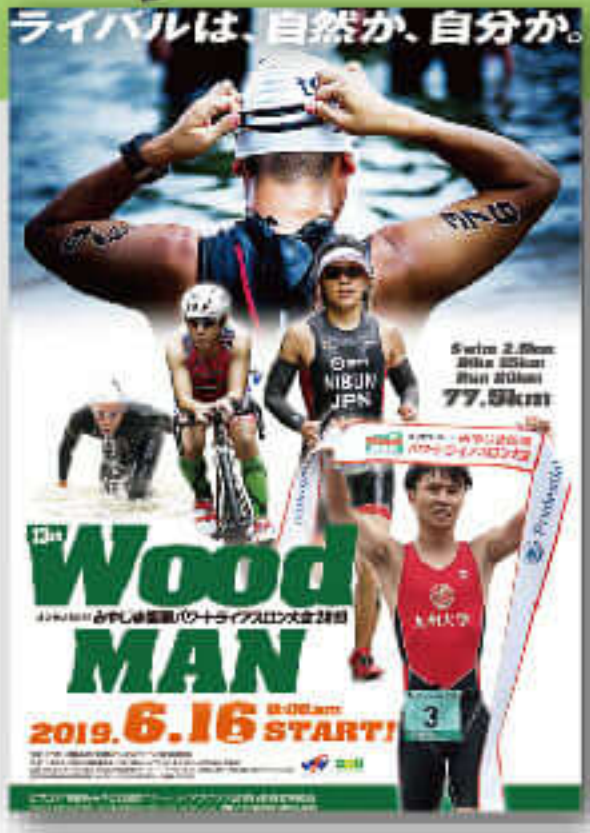
トライアスリートのためのバイク講習会

2019



2019大崎上島HAPPYトライアスロンジュニアチャレンジ

2019



第11回みやじま国際パワートライアスロン大会2019

2019



2019キッズアクアスロン体験会

2019



広島太田川OWS

2019



第2回広島OWS(倉橋)

2019



せとうち福山・鞆の浦トライアスロン2019

2019



2019秋デュアスロン広島

2020



ASTCアジアトライアスロン選手権2020廿日市

年度別広島県トライアスロン協会理事名簿 <1>

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
1994 年度		理 事	谷口 薫	理 事	塩村 年男	理 事	坂根 啓一	役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	川本 正行	理 事	瀧川 博幸	理 事	土生 幸次	理 事	入澤 雅典	理事長	谷口 薫	副理事長	川堀 耕史
副会長	津野瀬 武久	理 事	入澤 雅典	理 事	吉光 健治	理 事	松本 有司	副理事長	神殿 敬造	副理事長	益田 浩司
理事長	吉村 光俊	理 事	平川 卓郎	理 事	坂根 啓一	理 事	門田 信哉	理 事	古田 眞二	理 事	村上 隆
常任理事	荒井 貞光	理 事	土生 幸次	理 事	田中 輝雄	理 事	富田 茂生	理 事	田中 敏也	理 事	大垣 雅史
常任理事	田中 敏也	理 事	古田 眞二	理 事	入澤 雅典	理 事	松井 邦幸	理 事	土生 幸次	理 事	広中 利次
常任理事	瀧川 博幸	理 事	川堀 耕史	監 査	西田 真司	理 事	樫原 一成	理 事	広中 利次	理 事	磯辺 憲明
常任理事	平川 卓郎	理 事	塩村 年男	監 査	石井 恵子	理 事	磯辺 憲明	理 事	川堀 耕史	理 事	渡辺 富志男
常任理事	陶山 剛司	理 事	平野 公穂	1998 年度		理 事	高橋 正明	理 事	磯辺 憲明	理 事	池田 英子
常任理事	八城 一信	理 事	加川 修敏	会 長	川本 正行	理 事	藤岡 玉緒	理 事	西元 雅憲	理 事	平本 智美
常任理事	入澤 雅典	監 査	西田 真司	副会長	津野瀬 武久	理 事	田川 陽子	理 事	平本 智美	監 査	木村真一郎
常任理事	大木 真樹	監 査	石井 恵子	理事長	谷口 薫	理 事	阿蘇波 利文	監 査	永田 正典	監 査	吉村 光俊
常任理事	谷口 薫	1996 年度		副理事長	田中 敏也	理 事	木村真一郎	監 査	吉田 務	理 事	鍵山 元輝
常任理事	浜本 兼徳	会 長	川本 正行	副理事長	亀井 清光	理 事	吉田 務	2002 年度		監 査	吉村 千春
常任理事	広中 利次	副会長	津野瀬 武久	常務理事	古田 眞二	理 事	渡辺 育夢	会 長	川本 正行	2005 年度	
常任理事	阿蘇波 利文	理事長	吉村 光俊	常務理事	与儀 兼三	理 事	松田 裕一	副会長	津野瀬 武久	会 長	鶴 衛
理 事	仁井 数博	事務局長	与儀 兼三	理 事	塩村 年男	監 査	西田 真司	理事長	土生 幸次	副会長	津野瀬 武久
理 事	田原 彰	理 事	吉岡 和平	理 事	土生 幸次	監 査	永田 正典	副理事長	川堀 耕史	副会長	亀井 清光
理 事	西野 敏明	理 事	田中 敏也	理 事	川堀 耕史	2000 年度		理 事	村上 隆	理事長	土生 幸次
理 事	古田 眞二	理 事	川堀 耕史	理 事	神殿 敬造	会 長	川本 正行	理 事	大垣 雅史	副理事長	川堀 耕史
理 事	上松 秀司	理 事	塩村 年男	理 事	吉光 健治	副会長	津野瀬 武久	理 事	亀井 清光	副理事長	吉村 光俊
理 事	神殿 敬造	理 事	瀧川 博幸	理 事	坂根 啓一	理事長	谷口 薫	理 事	平本 智美	理 事	広中 利次
理 事	仲本 憲司	理 事	谷口 薫	理 事	田中 輝雄	副理事長	田中 敏也	理 事	広中 利次	理 事	磯辺 憲明
理 事	笠原 英雄	理 事	土生 幸次	理 事	入澤 雅典	副理事長	亀井 清光	理 事	磯辺 憲明	理 事	木村 真一郎
理 事	藤村 順一	理 事	浜本 兼徳	理 事	門田 信哉	常務理事	古田 眞二	理 事	渡辺 富志男	理 事	大垣 雅史
理 事	柿原 功三	理 事	平川 卓郎	理 事	富田 茂生	常務理事	神殿 敬造	理 事	益田 浩司	理 事	村上 隆
理 事	秋山 研龍	理 事	古田 眞二	理 事	高田 正剛	常務理事	与儀 兼三	理 事	鍵山 元輝	理 事	渡辺 富志男
理 事	乾 由基雄	理 事	加川 修敏	理 事	松井 邦幸	常務理事	土生 幸次	監 査	評議委員 2 名	理 事	池田 英子
理 事	稲本 雅俊	理 事	神殿 敬造	理 事	樫原 一成	常務理事	広中 利次	2003 年度		理 事	田川 陽子
理 事	掛江 明文	理 事	亀井 清光	理 事	元木 照幸	常務理事	川堀 耕史	会 長	鶴 衛	理 事	安住 康志
理 事	土生 幸次	理 事	室田 浩司	理 事	磯辺 憲明	理 事	坂根 啓一	副会長	津野瀬 武久	理 事	小野 博之
理 事	牧野 圭三	理 事	吉光 健治	理 事	高橋 正明	理 事	門田 信哉	副会長	亀井 清光	理 事	山口 伸治
理 事	木村 光広	理 事	坂根 啓一	理 事	広中 利次	理 事	富田 茂生	理事長	土生 幸次	監 査	吉村 千春
理 事	小野 博之	監 査	西田 真司	理 事	松本 有司	理 事	阿蘇波 利文	副理事長	川堀 耕史	2006 年度	
理 事	十都 善行	監 査	石井 恵子	監 査	西田 真司	理 事	樫原 一成	副理事長	益田 浩司	会 長	鶴 衛
理 事	森田 克彦	1997 年度		監 査	室田 浩司	理 事	磯辺 憲明	理 事	村上 隆	副会長	津野瀬 武久
理 事	坂野 郁夫	会 長	川本 正行	1999 年度		理 事	田川 陽子	理 事	大垣 雅史	副会長	亀井 清光
理 事	大山 敏明	副会長	津野瀬 武久	会 長	川本 正行	理 事	藤岡 玉緒	理 事	広中 利次	副会長	土生 幸次
理 事	中谷 康之	理事長	吉村 光俊	副会長	津野瀬 武久	理 事	木村 真一郎	理 事	磯辺 憲明	理事長	吉村 光俊
監 査	西田 真司	副理事長	田中 敏也	理事長	谷口 薫	理 事	松田 裕一	理 事	渡辺 富志男	副理事長	川堀 耕史
監 査	石井 恵子	副理事長	谷口 薫	副理事長	田中 敏也	理 事	渡邊 育夢	理 事	平本 智美	副理事長	山口 伸治
1995 年度		常務理事	浜本 兼徳	副理事長	亀井 清光	理 事	清水 宜彦	理 事	木村真一郎	理 事	田川 陽子
会 長	川本 正行	常務理事	亀井 清光	常務理事	古田 眞二	理 事	中村 光勇	理 事	池田 英子	理 事	佐伯 稔
副会長	津野瀬 武久	常務理事	古田 眞二	常務理事	神殿 敬造	理 事	島谷 佳克	理 事	吉村 光俊	理 事	大垣 雅史
理事長	吉村 光俊	常務理事	与儀 兼三	常務理事	与儀 兼三	理 事	西元 雅憲	理 事	鍵山 元輝	理 事	木村 真一郎
理 事	吉岡 和平	理 事	神殿 敬造	理 事	土生 幸次	監 査	永田 正典	監 査	吉村 千春	理 事	河野 雅史
理 事	笠原 英雄	理 事	室田 浩司	理 事	吉光 健治	監 査	吉田 務	2004 年度		理 事	杉本 豊優
理 事	荒井 貞光	理 事	瀧川 博幸	理 事	広中 利次	2001 年度		会 長	鶴 衛	理 事	広中 利次
理 事	田中 敏也	理 事	平川 卓郎	理 事	川堀 耕史	会 長	川本 正行	副会長	津野瀬 武久	理 事	磯辺 憲明
理 事	浜本 兼徳	理 事	川堀 耕史	理 事	田中 輝雄	副会長	津野瀬 武久	副会長	亀井 清光	理 事	三宅 弘
								理事長	土生 幸次	理 事	小野 博之

年度別広島県トライアスロン協会理事名簿 <2>

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
理 事	倉知 聡介	理 事	河野 雅史	2012 年度		2014 年度		2016 年度		副会長	広中 利次
監 査	吉村 千春	理 事	中川 吉晴	会 長	亀井 清光	会 長	亀井 清光	会 長	亀井 清光	理事長	吉村 千春
		理 事	杉本 豊優	副会長	川堀 耕史	副会長	川堀 耕史	副会長	川堀 耕史	副理事長	寺川 一成
2007 年度		理 事	野村 善孝	理事長	木村 真一郎	理事長	吉村 千春	副会長	吉田 俊夫	副理事長	宇田 泰稔
会 長	鶴 衛	理 事	高田 一治	副理事長	吉田 俊夫	副理事長	塩村 年男	副会長	広中 利次	副理事長	長崎 隼太
副会長	津野瀬 武久	理 事	吉田 俊夫	副理事長	吉村 千春	副理事長	大附 邦彦	理事長	吉村 千春	理 事	山本 勝政
副会長	亀井 清光	理 事	西田 正生	理 事	関藤 雄二	副理事長	吉田 俊夫	副理事長	寺川 一成	理 事	三宅 泰雄
副会長	土生 幸次	理 事	平野 克彦	理 事	柳原 憲明	理 事	山本 勝政	副理事長	宇田 泰稔	理 事	藤原 泰基
理事長	吉村 光俊	理 事	小野 博之	理 事	野村 善孝	理 事	杉野 伸	副理事長	長崎 隼太	理 事	大附 邦彦
副理事長	川堀 耕史	理 事	本庄 賢光	理 事	西田 正生	理 事	土生 幸次	理 事	山本 勝政	理 事	土生 幸次
副理事長	山口 伸治	監 査	吉村 千春	理 事	杉本 豊優	理 事	瀧川 博幸	理 事	杉野 伸	理 事	森川 郁夫
理 事	田川 陽子	2010 年度		理 事	塩村 年男	理 事	川端 英徳	理 事	三宅 泰雄	理 事	藤野 真人
理 事	木村 真一郎	会 長	鶴 衛	理 事	山本 勝政	理 事	杉本 豊優	理 事	土生 幸次	理 事	丸山 高司
理 事	野村 善孝	副会長	吉村 光俊	理 事	大附 邦彦	理 事	丸山 高司	理 事	森川 郁夫	理 事	北村 格一
理 事	中川 吉晴	副会長	土生 幸次	理 事	佐伯 稔	理 事	福元 哲郎	理 事	藤野 真人	監 事	神殿 敬造
理 事	河野 雅史	副会長	川堀 耕史	理 事	瀧川 博幸	理 事	長崎 隼太	理 事	丸山 高司	2019 年度	
理 事	杉本 豊優	理事長	木村 真一郎	理 事	宇田 泰稔	理 事	森川 郁夫	理 事	西田 正生	名誉会長	亀井 清光
理 事	佐伯 稔	副理事長	平野 克彦	理 事	梶谷 真一	理 事	広中 利次	理 事	乾 広美	会 長	木村 真一郎
理 事	広中 利次	理 事	吉田 俊夫	理 事	長崎 隼太	理 事	梶谷 真一	理 事	畑板 千明	副会長	川堀 耕史
理 事	三宅 弘	理 事	佐伯 稔	理 事	福元 哲郎	理 事	西田 正生	理 事	仲西 利明	副会長	吉田 俊夫
理 事	小野 博之	理 事	野村 善孝	理 事	広中 利次	理 事	宇田 泰稔	理 事	大附 邦彦	副会長	広中 利次
理 事	倉知 聡介	理 事	高田 一治	監 事	神殿 敬造	理 事	宮丸 公三	監 事	神殿 敬造	理事長	吉村 千春
監 査	吉村 千春	理 事	中川 吉晴	2013 年度		理 事	仲西 利明	監 事	柿原 功三	副理事長	宇田 泰稔
2008 年度		理 事	杉本 豊優	会 長	亀井 清光	理 事	野田 剛	2015 年度		副理事長	北村 格一
会 長	鶴 衛	理 事	河野 雅史	副会長	川堀 耕史	理 事	畑板 千明	会 長	亀井 清光	副理事長	三宅 泰雄
副会長	津野瀬 武久	理 事	大附 邦彦	理事長	吉村 千春	監 事	神殿 敬造	副会長	川堀 耕史	理 事	長崎 隼太
副会長	亀井 清光	理 事	小野 博之	副理事長	塩村 年男	監 事	柿原 功三	副会長	吉田 俊夫	理 事	山本 勝政
副会長	土生 幸次	理 事	西田 正生	副理事長	大附 邦彦	2015 年度		理事長	広中 利次	理 事	藤原 泰基
理事長	吉村 光俊	理 事	三宅 弘	副理事長	梶谷 真一	会 長	亀井 清光	副理事長	吉村 千春	理 事	大附 邦彦
副理事長	川堀 耕史	理 事	中川 竜哉	副理事長	吉田 俊夫	副会長	川堀 耕史	副理事長	寺川 一成	理 事	土生 幸次
副理事長	山口 伸治	監 査	吉村 千春	理 事	柳原 憲明	副会長	広中 利次	副理事長	宇田 泰稔	理 事	藤野 真人
理 事	田川 陽子	2011 年度		理 事	杉野 伸	副会長	吉田 俊夫	副理事長	長崎 隼太	理 事	佐藤 哲朗
理 事	木村 真一郎	会 長	鶴 衛	理 事	山本 勝政	理事長	吉村 千春	理 事	山本 勝政	理 事	丸山 高司
理 事	中川 吉晴	副会長	川堀 耕史	理 事	杉本 豊優	副理事長	大附 邦彦	理 事	杉野 伸	理 事	河本 明子
理 事	河野 雅史	理 事	木村 真一郎	理 事	丸山 高司	副理事長	西田 正生	理 事	三宅 泰雄	理 事	前峠 寛和
理 事	杉本 豊優	副理事長	吉田 俊夫	理 事	佐藤 哲郎	副理事長	長崎 隼太	理 事	藤原 泰基	監 事	室屋 進一
理 事	野村 善孝	理 事	吉村 千春	理 事	谷本 佳昭	理 事	山本 勝政	理 事	大附 邦彦		
理 事	佐伯 稔	理 事	野村 善孝	理 事	西田 正生	理 事	杉野 伸	理 事	土生 幸次		
理 事	吉田 俊夫	理 事	関藤 雄姿	理 事	権 明燦	理 事	宇田 泰稔	理 事	森川 郁夫		
理 事	小野 博之	理 事	大附 邦彦	理 事	瀧川 博幸	理 事	乾 広美	理 事	藤野 真人		
理 事	本庄 賢光	理 事	佐伯 稔	理 事	土生 幸次	理 事	杉本 豊優	理 事	丸山 高司		
監 査	吉村 千春	理 事	杉本 豊優	理 事	宇田 泰稔	理 事	丸山 高司	理 事	西田 正生		
2009 年度		理 事	湯川 健	理 事	乾 広美	理 事	土生 幸次	理 事	乾 広美		
会 長	鶴 衛	理 事	瀧川 博幸	理 事	川端 英徳	理 事	森川 郁夫	理 事	北村 格一		
副会長	土生 幸次	理 事	西田 正生	理 事	長崎 隼太	理 事	福元 哲郎	監 事	神殿 敬造		
副会長	川堀 耕史	理 事	小野 博之	理 事	福元 哲郎	理 事	仲西 利明	2018 年度			
理事長	吉村 光俊	理 事	三宅 弘	理 事	広中 利次	理 事	福川 潔	名誉会長	亀井 清光		
副理事長	木村 真一郎	理 事	長崎 隼太	理 事	福川 潔	監 事	神殿 敬造	会 長	木村 真一郎		
理 事	田川 陽子	監 事	神殿 敬造	監 事	神殿 敬造	監 事	柿原 功三	副会長	川堀 耕史		
理 事	佐伯 稔							副会長	吉田 俊夫		

国民体育大会トライアスロン競技 広島県選手団の記録

2009 トキめき新潟国体 (公開競技) (S:1.5km B:40km R:10km)		開催日	9月27日	男女監督 三宅 弘
記録	成年女子：18位 中原 恭恵 2時間 13分 20秒 S:25:09(23) B:1:05:27(4) R:42:44(26) 成年男子：37位 福元 哲郎 ※記録不明			
2010 ゆめ半島千葉国体 (公開競技) (S:1.5km B:40km R:10km)		開催日	10月3日	男女監督 福元 哲郎
記録	成年女子：18位 中原 恭恵 2時間 20分 10秒 S:24:26(23) T1:00:26 B:1:09:35(11) T2 00:33 R:45:10(27) 成年男子：25位 福元 哲郎 1時間 59分 10秒 S:20:56(40) T1:00:26 B:1:02:42(34) T2:00:38 R:34:28(9)			
2012 ぎふ清流国体 (公開競技) (S:1.5km B:40km R:10km)		開催日	10月7日	男女監督 福元 哲郎
記録	成年女子：14位 二分 陽子 2時間 20分 53秒 S:26:37(21) T1:00:42 B:1:11:53(22) T2:00:36 R:41:05(8) 成年男子：9位 原 智哉 1時間 58分 25秒 S:22:04(18) T1:00:41 B:0:59:37(12) T2:00:32 R:35:31(10)			
2013 スポーツ祭東京 (公開競技) (S:0.75 km B:18.4 km R:5 km)		開催日	10月5日	男女監督 福元 哲郎
記録	成年女子：18位 二分 陽子 1時間 18分 03秒 S:17:15(19) B:38:39(20) R:20:45(12) 成年男子：27位 原 智哉 1時間 09分 37秒 S:15:27(19) B:35:06(40) R:17:48(15)			
2014 長崎がんばらんば国体 (公開競技) (S:0.5 km R:5 km)		開催日	10月13日	男女監督 福元 哲郎
記録	成年女子：27位 高村 亮 25分 35秒 S:06:08(16) R:19:27(33) 成年男子：25位 二分 陽子 30分 17秒 S:07:18(18) R:22:59(30)			
2016 希望郷いわて国体 (正式競技) (S:1.5km B:40km R:10km)		開催日	10月2日	
記録	成年女子：28位 二分 陽子 2時間 13分 00秒 S:23:41(39) B: 1:07:00(16) R:42:19(33) 47位 坂根 三保 2時間 22分 57秒 S:23:43(40) B: 1:14:56(58) R:44:18(52) 女子監督 西田 正生 成年男子：22位 小林 歩 1時間 55分 36秒 S:23:16(54) B:59:09(42) R33:11(8) 男子監督 長崎 隼太 24位 池田 康智 1時間 56分 06秒 S:20:28(12) B:1:01:00(60) R:34:38(19) トレーナー 藤野 真人			
2018 福井しあわせ元気国体 (正式競技) (Swim0.75 km Bike20 km Run5 km)		開催日	10月7日	
記録	成年女子：30位 池田 麻貴 1時間 06分 13秒 S:12:24(41) B:34:05(39) R:19:44(20) 35位 二分 陽子 1時間 06分 56秒 S:12:32(47) B:33:46(31) R:20:38(33) 女子監督 森田 芳彦 成年男子：3位入賞 池田 康智 55分 14秒 S:10:08(21) B:28:52(9) R:16:14(2) 男子監督 長崎 隼太 21位 小林 歩 56分 42秒 S:10:50(44) B:29:06(20) R:16:46(20)			
2019 いきいき茨城ゆめ国体 (正式競技)(Swim1.5 km Bike41.4 km Run10 km)		開催日	9月29日	
記録	成年女子：49位 二分 陽子 2時間 25分 39秒 S:26:13 T1:00:55 B:1:12:25 T2:00:36 R:45:30 78位 中原 恭恵 2時間 39分 03秒 S:28:18 T1:00:54 B:1:09:32 T2:00:37 R:59:42 女子監督 林 香 成年男子：55位 梅野 翔也 2時間 04分 47秒 S:20:37 T1:00:44 B:0:59:07 T2:00:26 R:43:53 58位 松浦 達也 2時間 05分 :35秒 S:21:35 T1:00:49 B:1:02:25 T2:00:28 R:40:18 男子監督 長崎 隼太			



(公社)日本トライアスロン連合(JTU) 資格 (敬称略)

JTU 指導者		公認審判員資格		JTU RACE OFFICIAL					
初 級		第 1 種		第 3 種		中村みどり			
占部毅士	友井則美	大附邦彦		秋山研龍	河内千晶	林 幸一	下田順平	今井直子	中嶋直大
小林歩	寺川一成	土生幸次		石田定幸	河内龍三	平野君江	河根 修	佐伯稔	長崎隼太
野坂雅文	中村みどり		第 2 種	石橋幸雄	齋藤小雪	平安馨	河内龍三	笹木麻結	的場保憲
宇田奉稔	藤原泰基	烏田裕之	西田正生	宇高 樹	佐々木憲司	広中利次	花本光弘	山手日登美	田島 賢
佐伯稔		河本明子	川端英徳	大前秀行	佐々木美和	藤井一哉	梶田綺女	山内涼介	土居夏水
		北村格一	田桑真代	大室 朗	柴崎宏武	藤野真人	乾 広美	山本直樹	藤原英男
中 級		寺川一成	徳野詩織	岡田賀世	正尺弘樹	細川政浩	関野政之	小川優太朗	藤原芳樹
Lee Jason Ding Yue		藤原泰基	畑板千明	岡田雅幸	曾祢陽子	栴田滋久	丸山高司	松野文彬	藤葉麻紀
		増田雄太	堀本正和	岡田 守	高田由美	松山哲也	喜連安代	植月真一郎	飯島広志
		安田正彦		岡松夏紀	高橋順三	三宅泰雄	喜連潤一	森本真也	尾崎 修
(公財)日本スポーツ協会		山口宗則		沖津千賀子	高橋朋子	森口誠二	菊池 宏	神谷一彦	福島哲治
公認スポーツ指導者		吉田俊夫		荻野大樹	谷口泰二郎	山内誠	吉川 尚好	清家わかば	平田康樹
長崎隼太	二分陽子	宇田泰稔		奥田幸生	椿 丈明	山下眞史	久城啓史	舩下 和伸	平田祥子
西田正生	福元哲郎	塩村年男		小田俊信	中原由二	山田淳司	宮丸公三	相原千尋	北村凱平
吉田俊夫	林 香	河野雅史		加藤真一	中村光勇	横田 学	錦織光輝	大宮正美	北澤 守
吉村千春	森田芳彦	梶谷真一		加藤裕子	中山菊恵	吉本隆保	錦織功治	大上雅弘	栴本重富
秋山研龍		吉村千春		河原可奈	西島洋幸	伊藤瑞樹	金野貴志	大森由文	末次尚之
		山本勝政		河村公男	西山紀章	永島真理	権 明燦	池森夢子	門田峰司
		樹木 崇		魏 弘之	萩原真美	沖中泰樹	元木 昭宏	竹田 佳代	友添航介
				黒崎達也	花田三穂	下西ノ園のぞみ	弘下 紀彦	中山浩一	櫟良義則
ITU レベルワン (1) テクニカルオフィシャル		西田正生 寺川 一成		ITU クラシファイヤー			佐藤哲朗		

ITU レベルワン (1) テクニカルオフィシャル 西田正生 寺川 一成 ITU クラシファイヤー 佐藤哲朗



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

資格 (敬称略)

日本赤十字社水上安全法指導員

木村真一郎 丸山高司 河本明子

赤十字水上安全法救助員 II

吉村千春 藤原泰基 烏田裕之

公益財団法人 日本ライフセービング協会(JLA)

資格 (敬称略)

ベーシックサーフライフセーバー

丸山高司 河本明子 北村格一 藤原泰基 烏田裕之

(一社)ウオーターリスクマネジメント協会(W.R.M.A)

資格 (敬称略)

PWC レスキュードライバー・レスキューアー

丸山高司、河本明子

一般社団法人広島県トライアスロン協会事務所案内

<事務所>
住 所: 〒732-0052
広島市東区光町1-11-5 チサンマンション717号室
電 話: 080-4555-4780
E-mail: info@hiroshima-tri.jp
H P: http://www.hiroshima-tri.jp/
顧 問: 林 正 夫(元広島県県議会議員)
顧問弁護士: 栗田博正(広島シティ法律事務所)
顧問税理士: 室屋進一(室屋進一税理士事務所)

理 念

「トライアスリートへの奉仕
そして共に歩み、導く」

「トライアスリートのサーバントたれ!」

※目標に向かって邁進するアスリートや仲間を後方から支援するリーダーの意味





「一般社団法人 広島県トライアスロン協会創立25周年記念誌」

発行日：2019年11月9日

発行者：一般社団法人 広島県トライアスロン協会創立25周年記念実行委員会

編集責任者：吉村 千春（一般社団法人 広島県トライアスロン協会 理事長）

〒732-0052 広島市東区光町1-11-5 チサンマンション717号室 TEL 080-4555-4780

Email: info@hiroshima-tri.jp HP <http://www.hiroshima-tri.jp/>

デザイン／制作：アドライン 小柳 円香